



南之町屋台部トピックス

NO. 3
2017. 5. 25

◇新調やっさ制作中！ —ふとんやっさの木地制作の魅力を知りました！—



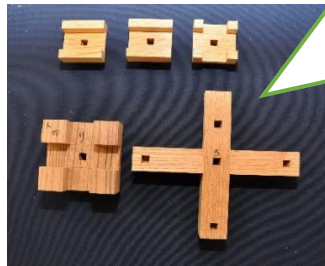
34年ぶりに新調する“南之町やっさ”の制作が、福喜建設株式会社において、棟梁福田幸義さんを中心に始まっています。ふとんやっさの木地は、社寺建築の基本によって制作されます。制作段階だから知ることができる宮大工の技・木地の魅力を写真で紹介します。

現在、腰組高欄の仮組、隅木と桁の部分の制作が進んでいます。

1☆腰組高欄 —華麗に進化する構造です！—



腰組高欄



腰組高欄は、斗組が支える構造です。斗（大斗、鬼斗、巻斗、方斗など）と肘木（隅肘木、拳鼻肘木、雲肘木、通肘木）と呼ばれる2種類の部材の組み合わせからなっています。



出組（一手先）



☆すべての部材が完璧にはめこまれ、宮大工さんの技に感動しました！（*^▽^*）

2☆隅木・桁 —宮大工・彫師のコラボです。正角彫刻・・・お楽しみに！—



隅木・桁



☆原寸図面の通り加工、お見事！（^^）！



新調屋台情報は、南之町屋台部HP・Facebookで発信中！ いいね！ してね。